

予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **新** 電子観光クーポン事業「ぎふ旅コイン」事業費補助金
(R4分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部観光国際局 観光誘客推進課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内 3075)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 300,000千円 (現計予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
既定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	300,000	0	0	0	0	0	0	0	300,000
決定額	300,000	300,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の発令や外出の自粛などにより、県内への観光客は著しく減少し、県内の観光事業者はこれまで経験したことのない厳しい状況に面している。

国が策定した「今後の観光需要喚起策」に従い、「ほっと一息、ぎふの旅キャンペーン」や「G o T o トラベルキャンペーン」を実施し、旅行・宿泊需要を喚起するとともに、キャンペーン以外にも幅広い観光産業支援のため、電子観光クーポン事業「ぎふ旅コイン」の配付を実施する。

また、観光産業のネットワーク構築及び取引データの分析・観光産業への情報還元を実施し、観光DXを推進する。

(2) 事業内容

電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」事業 (3,236,892千円)

- ・「ぎふ旅コイン」実施主体である(一社)岐阜県観光連盟へ補助
- ・岐阜県への旅行者に電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」を配付

配付額：1,000円

- ① 体験コンテンツ等利用者への配付
- ② 「G o T o トラベルキャンペーン」実施時期以外での配付

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 有

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	300,000	電子観光クーポン「ぎふ旅コイン」割引原資 運営事務局委託料・データ分析委託料・プロモーション委託等
合計	300,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

R2年度国がGOTOトラベル事業を実施。他県も上乘せ補助等を実施。

R3年度については、GOTOトラベルの休止により、国は地域観光事業支援として都道府県に補助金を交付。

国による新たなGOTOトラベル実施後、都道府県実施主体による実施・運営へ移行

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの影響による緊急支援事業のため、単年度事業である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	電子観光クーポン事業「ぎふ旅コイン」事業費補助金(R4分)
補助事業者(団体)	(一社)岐阜県観光連盟
補助事業の概要	(目的) 補助団体が実施する電子観光クーポン事業の実施を支援する。 (内容) 旅行期間中に、お土産物店、飲食店、公共交通機関などで利用可能な地域限定クーポンを配付(電子観光クーポン事業「ぎふ旅コイン」事業)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他(例:人件費相当額) 定額(10/10)
補助効果	岐阜県観光消費額の増大
終期の設定	単年度補助

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

県内宿泊者数をコロナ前(R1年度)と比較して100%以上に戻し、観光消費の経済波及効果、観光入込客数(実数)の達成を目指す。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H30年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 観光入込客数	4,603万人	4,600万人	4,900万人
② 観光消費額	4,172億円	5,000億円	3,300億円

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 1,010,000千円
指標①目標					4,900万人
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					3,300億円
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	観光業界からの幅広い観光産業の支援に対する要望が高い。また、アフターコロナに向けた新たな観光に対応するためのデータ収集・分析が急務である。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	R3の売上実績から幅広い観光産業へ裨益されている。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	事務費等を最小限に抑える手法により実施している。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
